平成27年10月29日 中央漁業指導所·水産試験場

## 環境調査結果のお知らせ

平成27年10月29日午前10時から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

## 概況

湾内の環境は、水温22~23℃、塩分32、溶存酸素量5~7mg/Iでした。

透明度は3~5mで、有害種のミリオネクタ・ルブラ、ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ、ヘテロシグマ・アカシオが確認されました。

## 水温と塩分(表1-2)

水温22.0~22.9℃、塩分31.8~32.3、溶存酸素量5.2~7.2mg/Iでした。

前回調査時(H27.10.7)と比較して、水温は全層で1.8~2.1℃下降しました。また、湾奥ブイ、馬の背、ガラク、 白浜では、表層と底層の水温差が小さい状態になっていました。

塩分は全層で0.4~1.1上昇しました。また、塩分も湾奥ブイ、馬の背、ガラク、白浜で表層と底層の差がほとんど無い状態になっていました。

## 溶存酸素量(表3)

溶存酸素量5.2~7.2mg/Iでした。

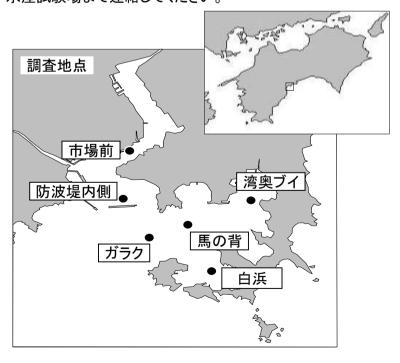
前回調査時と比較して、溶存酸素量は表層から5m層で0.3~0.6mg/l減少し、10m層から底層で0.1~0.4mg/l増加しました。

# プランクトン(表4・5)

透明度は3.2~4.5mでした。

検鏡の結果、貝類に有害なミリオネクタ・ルブラが最高で2cells/ml、ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマが最高で2cells/ml、魚類に有害なヘテロシグマ・アカシオが最高で1cells/ml確認されました。カレニア・ミキモトイは確認されませんでした。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、中央漁業指導所か水産試験場まで連絡してください。



#### 漁業被害が想定される細胞密度

・カレニア・ミキモトイ:

数百~数千cells/ml(魚類等のへい死)

・ミリオネクタ・ルブラ:

10cells/ml(貝類の赤変化)

- ・ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ:
  - 1,000cells/ml(貝類のへい死)
- ・ヘテロシグマ・アカシオ:

10,000~50,000cells/ml(魚類のへい死)

表1 水温(℃)

					津波防波堤		前回調査		
調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	白浜	内側	漁場平均※	漁場平均※	前回との差 今回-前回	市場前
	00.0	00.0	00.0	00.5	00.1	00 E	040		
0m	22.3	22.6	22.8	22.5	22.1	22.5	24.3	<b>▲</b> 1.8	
2m	22.2	22.4	22.7	22.4	22.1	22.4	24.3	<b>▲</b> 1.9	22.4
5m	22.2	22.4	22.7	22.3	22.5	22.4	24.3	<b>▲</b> 1.9	22.7
10m	22.1	22.3	22.6	22.2	22.8	22.3	24.4	<b>▲</b> 2.1	_
B-1m	22.0	22.2	22.5	22.1	22.9	22.2	24.3	<b>▲</b> 2.1	22.8

表2 塩分

<u> </u>									
調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	白浜	津波防波堤 内側	漁場平均※	前回調査 漁場平均※	(H27.10.7) 前回との差 今回一前回	市場前
0m	32.2	32.2	32.3	32.3	31.8	32.3	31.2	1.1	31.6
2m	32.3	32.2	32.3	32.3	31.8	32.2	31.2	1.0	31.8
5m	32.3	32.2	32.3	32.3	32.1	32.2	31.2	1.0	32.1
10m	32.2	32.2	32.2	32.3	32.3	32.2	31.4	0.8	_
B−1m	32.2	32.2	32.2	32.3	32.3	32.2	31.8	0.4	32.2

表3 溶存酸素量(mg/l)

<u> </u>	<u> </u>								
調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	白浜	津波防波堤 内側	漁場平均※	前回調査 漁場平均※	(H27.10.7) 前回との差 今回一前回	市場前
0m	6.3	5.9	6.1	6.2	7.2	6.1	6.7	▲ 0.6	6.6
2m	6.3	5.4	6.1	6.1	7.1	6.0	6.5	<b>▲</b> 0.5	6.5
5m	6.1	5.4	6.1	6.2	6.5	5.9	6.2	▲ 0.3	6.3
10m	6.0	5.7	5.9	6.3	6.3	6.0	5.9	0.1	_
B−1m	5.9	5.7	5.2	6.2	6.2	5.7	5.3	0.4	6.2

※湾奥ブイ・馬の背・白浜・ガラクの平均値

表4 水深·透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	白浜	津波防波堤 内側	市場前
水深	16.9	23.9	15.4	16.8	14.5	10.7
透明度	3.2	3.3	4.5	4.3	3.4	3.0
前回(10/7)	4.0	4.8	4.7	5.6	4.7	2.5

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ミキモトイ	ミリオネクタ・ ルブラ	ヘテロカプサ・ サーキュラリス カーマ	ヘテロシグ マ・アカシオ	珪藻類	
	0m	0	1	0	0	3,950	
湾奥ブイ	2m	0	0	1	0	3,100	
	5m	0	0	0	1	2,700	
	0m	0	1	2	0	1,000	
馬の背	2m	0	2	0	0	1,200	
	5m	0	2	0	0	1,000	
	0m	0	0	0	0	550	
ガラク	2m	0	0	0	0	600	
	5m	0	1	0	0	300	
津波防波堤	0m	0	0	0	1	500	
净减防放堤 内側	2m	0	0	1	0	1,150	
PIRI	5m	0	0	0	0	950	
市場前	0m	0	0	0	0	750	
	2m	0	0	0	0	800	
	5m	0	0	0	0	250	